

## 指定管理者からの令和5年度事業報告概要

施設名	岡山県視覚障害者センター
施設所在地	岡山市北区西古松268-1

### 【指定管理者の概要】

名称	社会福祉法人 岡山県視覚障害者協会	代表者	会長 片岡 美佐子
所在地	岡山市中区土田96-1		

### 【指定管理の概要】

指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	報告期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターの施設等の維持管理に関すること。</li> <li>・センターの施設等の利用の許可に関すること。</li> <li>・岡山県視聴覚障害者情報提供施設条例第2条に規定する業務の実施に関すること。</li> <li>・センターの運営に関すること。</li> </ul>		

### 【管理体制の状況】



### 【利用等の許可の状況】

(単位：件)

		会議室・料理室		合計
許可件数	5年度	461		461
	4年度	417		417
	増減	44		44

### 【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の維持管理業務	センターの施設の維持管理（会議室、閲覧室・点字パソコン室、テープ作業室、録音室、聴読室、点字本印刷室、プリント室、料理室、事務室）
施設等の利用許可業務	会議室・料理室利用許可件数 461件
実施事業	①施設管理運営、②点訳・朗読奉仕員養成事業、③自立支援拠点活動支援事業、④視覚障害者生活訓練等事業、⑤移動支援事業者情報提供事業、⑥点字即時情報ネットワーク事業、⑦視覚障害者情報ネットワーク事業、⑧視覚障害者日常生活情報サービス事業、⑨視覚障害者関係地域ボランティア研修事業、⑩サピエ図書製作ボランティア事業

### 【利用料金の収入及び減免の状況等】

(単位：円、件)

				合計
収入額				
利用件数				
減免額				
減免理由				

## 指定管理者からの令和5年度事業報告概要

### 【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		5年度	対前年度増減額	4年度	備考
<b>収入額 A</b>		33,104,693	△2,065,722	35,170,415	5年度収入額 その他の主なもの ・本部繰入金収入 1,085,312円 ・エネルギー価格 高騰等に伴う支 援交付金 345,000円
内 訳	指定管理料	30,517,000	431,353	30,085,647	
	利用料金収入	0	0	0	
	事業収入	0	0	0	
	その他	2,587,693	△2,497,075	5,084,768	
<b>支出額 B</b>		33,104,693	△2,065,722	35,170,415	5年度支出額 その他の主なもの ・福祉機器等購入 480,000円
内 訳	人件費	17,085,935	△848,756	17,934,691	
	管理運営費	8,346,226	928,408	7,417,818	
	事業費	6,950,000	△2,137,416	9,087,416	
	その他	722,532	△7,958	730,490	
<b>収支額 A-B</b>		0	0	0	
県への納入金		—	—	—	
<b>実質的な県負担額</b>		15,005,500	36,000	14,969,500	

### 【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目		区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理 運営 状況	①適切な施設 管理の履行	B	協定及び事業計画に沿った適切な管理が行われていた。
	②法令等の遵守 状況	B	法令等について遵守されていた。
	③安全性の確保	B	防災計画に基づき避難訓練を実施するなど、防災・危機管理意識の向上に努めた。
	④財産の適切な 管理	B	備品の保管等、適切な管理が行われていた。
導入 効果	①利用状況	B	センター所有図書の貸出件数は減だが、自宅のパソコンで点字・録音データの入手が容易にできるサピエ図書館の登録者数は増加した。視覚障害のある人の生活の質の向上に向け、引き続き事業運営の工夫が望まれる。 【図書貸出件数】 R5:11,718件 ← R4:12,024件 【登録者数】 R5: 314人 ← R4: 296人
	②収支状況	B	日常的な経費の削減に努め、収支計画に沿った適切な運営が行われた。
	③サービス向上	B	利用者のニーズに応じた最も利用しやすい方法による情報提供や、ニーズに応じた図書の選定に努めた。
<b>管理運営業務全般</b>		B	協定書、事業計画書に基づき、概ね適切に管理運営業務が実施されたと認められる。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。 B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。 D：予定していた業務水準を下回った。